


防火標語

火を消して
不安を消して
つなぐ未来



発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁西庁舎)

〒380-8570
長野市大字南長野字幅下692-2
TEL (026) 232-5319

編集発行人
上 條 博 文

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyoukai.com/>



ポンプ車操法・茅野市消防団



小型ポンプ操法・駒ヶ根市消防団



ラッパ吹奏大会・長野市消防団



開始式

令和5年度 長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会結果

順位	ポンプ車操法	小型ポンプ操法	ラッパ吹奏
優勝	茅野市	駒ヶ根市	長野市
準優勝	信濃町	上田市	茅野市
3位	上田市	池田町	駒ヶ根市
4位	白馬村	諏訪町	千曲市
5位	松川町	長野市	安曇野市
6位	駒ヶ根市	立科町	木曾町
7位	千曲市	千曲市	佐久市
8位	小諸市	川上村	大町市
9位	松本市	王滝村	青木村
10位	飯山市	高森町	木島平村
11位	佐久穂町	安曇野市	下條村
12位	上松町	飯山市	川上村

長野県と(公財)長野県消防協会の共催による県大会を令和5年7月23日(日)、長野市篠ノ井の県消防学校で開催しました。県下12の地区消防協会

から、ポンプ車操法95名、小型ポンプ操法83名、ラッパ吹奏213名の選手をはじめ、選手関係者、来賓、役員、運営員、観戦者を合わせて約1,800名

CATVなど報道機関が参加。運営は前回大会に引き続き、選手が競技時間を目指して集合、競技後退場する入替え方式で実施。開閉会式は式典色をなくし、表彰式は後日行うこととしました。前回大会では自粛していた応援も今回は復活し、選手に盛んな拍手が送られました。

優勝チーム

ポンプ車操法 茅野市消防団
小型ポンプ操法 駒ヶ根市消防団
ラッパ吹奏大会 長野市消防団

第65回長野県消防ポンプ操法大会 第32回長野県消防ラッパ吹奏大会

初めて県消防学校で開催

の取材もあり、選手及び関係者の熱意を県民の皆さんに伝える機会にもなりました。今回は、会場を地区会場から初めて県消防学校に移し、ラッパ吹奏も要領見直し後、初めて屋内訓練場での実施となりました。運営を担った上伊那消防協会の各消防団は、前日準備から約80名が参加。当日は早朝から駐車場、総務、会場、選手誘導などの係を担当いただきました。さらに、県消防学校初任科生の皆さん85名にも競技後のホース撤収を支援してもらいました。



上條会長 開会あいさつ

個人賞

ポンプ車操法			小型ポンプ操法		
指揮者	松川町	原 恭司	駒ヶ根市	村上 一	
1番員	茅野市	両角 弘樹	駒ヶ根市	村上 大	
2番員	茅野市	丸茂 聖	駒ヶ根市	村上 晃一	
3番員	駒ヶ根市	小田切イチロー	上田市	奥村 拓也	
4番員	信濃町	小林 大祐	—	—	

優勝チーム寄稿

県大会を振り返って

茅野市消防団玉川分団第6部

主将 伊藤 大地

今回の県大会に際して長野県消防協会様をはじめ関係各位には大変なご尽力をいただきました。誠にありがとうございました。

私たち茅野市消防団につきましてはコロナウィルスの関係で操法大会自体への出場は約4年ぶりとなりました。しかしながら今回、皆様のご協力のもと県大会への出場そして、優勝を果たすことができ大変嬉しく思っております。

日々の練習では早朝に練習を行い、夜に朝の練習の振り返りをするといった方法で取り組んできました。技術面はもちろんですがその中でも大切にしてきたことは「気持ち」です。

実は今年の選手は私以外今まで操法未経験であり、正直最初は気持ちがバラバラでした。

各々家庭や仕事などプライベートがある中で操法の練習をすることに温度差があるように感じました。そこで選手間での話し合いの場を設け、そもそも大会に出るか出ないか、出るのであればどこを目指してどのような覚悟で取り組んでいくのか。何度も話し合いをすることで最

最終的に選手全員が同じ方向を向き、同じ気持ちで操法に取り組むことができました。そして今回の優勝という結果に繋げることができたと感じております。また、選手がそのような気持ちで操法に打ち込めたのももちろん周りの関係者・家族の協力があったることであり、感謝しきれません。



茅野市消防団「よいてーこしょ、よいさ!! 感謝」

今回の県大会優勝は私たちにとって大きな糧となりました。来年以降ももちろん優勝を目指し努力していきたいです。また、当然のことながら操法は災害時に行う動作を詰め込んだものだと自覚しております。近年は災害が多くなつてきておりますので災害時には毎日の練習で培った操法技術を活かし、自分たちの地域を自分たちの手で守っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

諦めない気持ち

駒ヶ根市消防団第5分団

主将 坂間 岳志

コロナ過を経て4年ぶりの開催となった駒ヶ根市のポンプ操法大会は、団員の負担軽減から練習が週3回となったため、進め方も手探りの出発でした。そんな中でも選手達は優勝を目指して練習に取り組み、その姿にサポートの団員達も一丸となり高い士気で行う練習を行ってこが出来ました。

市の大会は、怪我により途中で選手交代というアクシデントがありました。選手の懸命な努力により、なんとか大会までに仕上げられて優勝することができました。しかし、県大会の直前でも選手交代のアクシデントが発生し、出場さえ危ぶまれるような状況でした。そんな

中でも選手達は諦めず、「必ず出場するんだ」という強い意志で立ち向かってくれました。このような綱渡りの状態でしたが、無事に県大会を迎えることができ、分団長から「結果はなんと優勝」と聞いた時は、一瞬頭が真っ白になりました。「目標の優勝に本当に手が届いたんだ。ついに叶った」という気持ちが溢れっぱいになりました。

今回優勝することが出来たのも家庭や仕事もある中、痛む身体を推して頑張ってくれた選手達。まだ日が昇る前の暗い中、機材等の準備をしてくれたサポートの団員達。円滑に進むよう裏で支えていただいた消防団幹部の皆さんのおかげだと思っています。このような機会にチームの主将として立ち会え貴重な経験が出来ました。本当にあり



駒ヶ根市消防団 小型ポンプ操法チーム



駒ヶ根市消防団 出場メンバー (ポンプ車・小型ポンプ・ラッパ吹奏) 勢ぞろい

がありがとうございました。

最後になりますが、長野県消防協会をはじめとする各消防協会、駒ヶ根市消防団、地域の皆様、お世話になった方へ、心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

「住民の生命、身体、財産を守る」という消防の使命を果たすべく、操法で培った技術、チームワークを発揮して一層の活動に励んでいきたいと思っております。



長野市消防団「2連覇達成! 隊員の自信に」

大会を振り返って

長野市消防団音楽

隊長 清水 大輔

昨年の県大会は、3年ぶりとは言え新型コロナウイルスに振り回され、慌ただしく終わった大会となりました。一方、今年とは例年通りの練習期間で、十分とは言えない中でもしっかりと練習することができ、落ち着い

て大会に臨むことができました。地元での開催というのも良かったと思います。

今大会から大きく変更になったところがあります。それは、体育館での競技になったということです。そのため、練習も体育館で行う必要が出てきました。長野市大会は屋外での競技のため、体育館での練習は長野市大会が終わってから行いました。市内の体育館の多くはスポーツ団体が使用しているため、予約が思うようにできず、比較的に予約が取りやすい体育館が中条体育館だったため、練習の多くはその体育館で行いました。夜の練習であっても体育館の中は暑く、近隣住民への配慮から窓を開けることができず、暑さとの戦いでもありました。音の響きの違いも大きな課題でした。体育館に合わせた演奏方法や音にとつては大きな悩みだったと思います。

そして、体育館での演奏のほかにもう一つ大きな問題がありました。それは私が指揮者で大会に出場したことです。前は主将として、また隊員の時代は打楽器で大会に臨んでいたのですが、指揮者としての出場は初めてでした。指導する隊員は演奏のほかに、指揮者の指導もしなければいけないわけですから並大抵の苦労ではなかったと思います。

そんな指揮者でありながら今年も優勝することができ、本当にうれしく思っています。

終わってみればあつという間の大会期間でしたが、この2連覇が隊員たちの自信につながり、今後の活動がより良いものになると確信しています。負担軽減と言われているにもかかわらず、寝る間を惜しんで頑張ってくれた隊員の皆さん。そして、隊員を支えてくれたご家族、団本部の皆さん、消防局の皆さん。本当にありがとうございます。そしてお疲れさまでした。

令和5年度 第1回理事会

第1回理事会を5月18日(木)長野市内で開催しました。

令和4年度事業報告及び歳入歳出決算について、菅沼監事から5月11日(木)に行った監査結果の報告があり、いずれも原案どおり承認され評議員会に提案することが決定されました。

また、評議員会の日時や県消防ポンプ操法大会要綱等について決定されました。

県大会スナップ



福澤副会長競技後あいさつ



競技を見つめる観客の皆さん



ラッパ吹奏審査員の方々



撤収を行う
県消防学校初任科生の皆さん



県下消防局・本部、県消防学校が担った操法審査員



7月22日前日準備に集合
上伊那協会各消防団員の皆さん



定時評議員会

令和5年度定時評議員会を6月6日(火)長野市内で開催しました。

会議では、議長を五十嵐幸男評議員(会長)に務めていただき、事務局から4年度事業を報告。歳入歳出決算及び新たな理事の選任について審議され、原案のとおり承認されました。



新役員の紹介

(令和5年6月6日付・敬称略)



常務理事
小野 政仁
(県消防課長)



理事
武田 望
(白馬村消防団長)

令和4年度歳入歳出決算

(令和4年4月1日~令和5年3月31日まで)

(単位:円)

I 事業活動収支の部	
1 事業活動収入	
基本財産運用収入	6,906,000
事業収入	5,871,914
補助金等収入	7,603,035
雑収入	2,493,318
事業活動収入計	22,874,267
2 事業活動支出	
事業費支出	11,557,286
広報事業費	467,500
予防宣伝対策事業費	814,080
教養訓練事業費	6,248,045
表彰事業費	2,052,974
弔慰救済事業費	1,974,687
管理費支出	12,074,932
事業活動支出計	23,632,218
事業活動収支差額	△ 757,951
II 特別積立預金支出	199,616
当期収支差額	△ 957,567
前期繰越収支差額	7,857,121
次期繰越収支差額	6,899,554

副団長講習会

6月10日(土)副団長講習会を長野市の県消防学校で開催。41の消防団から67名が参加しました。研修会では、今年度初めての消防団員等公務災害補償等共済基金の講師によるS-I-K-Y-T(消防団危険予知訓練)を採用。4名の指導員による実技やグループディスカッション、検討結果の発表が行われました。



長野県消防関係殉職者慰霊祭

副会長 追悼の言葉



上條会長 追悼の言葉

県消防長会との共催による県消防関係殉職者慰霊祭が9月6日(水)に長野市花岡平の「殉難消防組員の碑」前において行われました。

副団長 関昇一郎

副知事、前
沢危機管理
監兼危機管
理部長、小
野消防課
長、県消防
長会正副会長、県消防協会正副
会長、福利厚生委員会他57名が参
列されました。



副会長 献花に向かう副会長

第42回全国消防殉職者慰霊祭行われる

9月14日(木)、都内ニッショーホールで、岸田内閣総理大臣、鈴木総務大臣をはじめ、全国から御遺族代表、消防関係者が参列して行われました。今年度は新



参列した岸田総理大臣

たに、3柱が合祀され、その御霊は5、787柱となりました。長野県からは、県消防協会会長と、御遺族2名が参列し献花を行いました。



御遺族による献花

知事表彰

消防功労者知事表彰(消防関係)は次の9名が表彰されました。(敬称略)

上田市消防団副団長 杵掛 和重

長野市消防団副団長 黒岩 正昭

(前)松本市消防団副団長 黒田 道宣

(前)長野市消防団副団長 小林 秀昭

(前)松本市消防団副団長 須澤 裕治

(元)下諏訪町消防団副団長 原田 聡

長野市消防団副団長 山上 卓秀

(前)長野市消防団副団長 湯本 幸伸

長野市消防団副団長 和田 浩夫

春の叙勲

県内からは、次の5名の方々が受章の栄に浴されました。(敬称略)

瑞宝単光章 池田 信一

(元)中野市消防団副団長 掛川 久善

(元)東御市消防団副団長 栗林 良夫

(元)大岡村消防団副団長 小林 和夫

(元)小川村消防団副団長 須賀 真孝